

【R02】 OGAWA キャリアツリー



目指す学校像 《キャリア教育の目標》

伝統校としての自覚を持ち、学習に重きを置き、
行事や部活動等に主体的にチャレンジする生徒を育成する

令和2年度の重点目標

- 1 確かな学力の育成に向け、ICT等を活用した学習及び授業改善を行い、生徒が主体的に学習に取り組む態度や自律的に学習を行う習慣を育み、生徒一人一人に応じたキャリア教育を実践する。
- 2 豊かな心と健やかな体の育成のために「学校の新しい生活様式」を踏まえ、自身と他者の心と体を大切にするとともに、校内の施設・設備や生徒自身の持ち物を大切に扱う態度や習慣を育む。
- 3 「おがわ学」の開発・実践やPTA活動、学校説明会等を通じて、地域や保護者との連携・協働を行い、社会に開かれた教育課程の実現を目指し、魅力ある学校づくりを推進する。

家庭科

持続可能な社会をつくるために、身近な生活問題や社会的課題を学ぶとともに自立と共生のための知識や技術を身につけ、よりよい生活を目指す。

国語科

語彙力を身につけ、多くの作品に触れることで、伝統的な日本文化を十分に理解し吸収させる。論理的文章の講解と作成により、建設的な発想と言動によるコミュニケーション能力を身につけさせる。

情報科

情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得して、情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育成する。

理科

自然の事物・現象に対して実験・観察・実習等を交えながら科学的に考察し、五感を通して体験させる。それらを通して、何事にも興味関心を持ち、行動する力を養うことで、「生涯にわたり学び続ける人」を育成する。

英語科

文化の背景を学習し幅広い知識と多角的な視点による考察力をアクティブ・ラーニングによって養う。これらを通して、海外と日本のグローバル双方で活躍できる人材を育成する。

芸術科

- 1 生徒の興味関心を促し、表現力の発展に努める。
- 2 創造的な表現を工夫し、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 3 自主的活動の育成に努め、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てる。

地歴・公民科

物事を社会科学的に深く分析し、批判的・多角的。探求的な視野を養う。また、課題に対して観察・分析・考察することを重視し、解決する力をつけさせる。これらの学習活動を通じて、バランスの取れた社会的能力の習得を目標とする。

保健体育科

運動する楽しさや喜びという本質を味わわせ、健康・安全に関する内容を総合的に理解させ、生涯を通じて自らの健康や環境を適切に管理し、改善する。また、豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育成する。

数学科

様々な事象を数学的に考察し、論理的思考力を用いて解答に辿り着くことにより、問題を解く喜び、達成感、努力の成果を体験させる。それらの体験を通して、自ら考えて行動する力を養い、「生涯にわたり学び続ける人」を育成する。

特活部

生徒会行事を通して、チャレンジ精神、他者と関わり合いながら共創する力、リーダーシップ力等、生涯にわたり必要な力を育てる。また、学校環境の改善に取り組み、社会の一員としての意識・態度を身につける。

教務部

確かな学力を身につけさせるため、適切なカリキュラムを編成するとともに、適切な教材を選択する。更に自主的に学習へ取り組む方を提示し、より発展的な内容に踏み出すために必要な基礎力を定着させ、難解な局面にチャレンジする態度を育てる。

事務室

事務職員等として、日ごろの生徒との係わりの中で接遇の大切さを示し、規範意識やコミュニケーション能力の育成を支援する。

渉外部

生徒が自分の在り方生き方を考える中で、健全な職業観・勤労意識を育成するキャリア教育を推進する。PTA主催の進路講演会を通して、保護者、生徒、教員がともに生徒の進路を考える機会を設ける。

進路指導部

授業を中心とし、キャリア構築に必要な基礎学力・専門知識を習得する。さらに、自ら生き方を考え将来に対する目的意識を持ち、自らの意志と責任で進路を選択する能力・態度を育てる。

図書館部

図書館の整備と利用指導、授業支援等により、生徒の知的好奇心に応えるとともに、生涯にわたり学び続けるための基礎力を養う。また芸術鑑賞会の実施を通し、文化的教養の素地を育む。

保健環境部

心身共に健康で安全な生活を送るために「新しい生活の様式」をきちんと身に付ける。そのためにも自分の生活を考え、見つめなおし、行動できるような態度を養う。さらに、他者に思いやりを持ち、助け合いの精神で自他共に健全な生活を送る態度を育成する。

生徒指導部

授業・部活動・行事を通して生徒が知力・体力・気力・実践力・コミュニケーション力を身につけ、自律的で良識があり、主体的に動ける能力を育む。また、ICT化される社会に対応できるようネットリテラシーを身につけ、社会で活躍できる人材を育成する。

小・中・高で連携し、系統的に児童・生徒のキャリア形成を支援していくことを目指して、児童・生徒が自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫された「キャリア・パスポート」を積極的に活用していく。

小川高校のキャリアの教育理念

- 1 あらゆる教育活動の主人公は生徒であり、生徒の学びと成長を第一に考える
- 2 あらゆる教育活動を生徒一人一人の人生（キャリア）と円滑な社会への移行（トランジション）を見据えて行う
- 3 あらゆる教育活動を生徒の学びと成長のチャンスと捉え、教科・分掌・学年・部活動がその枠を越え連携する